

ウズベキスタン視察調査団帰国報告会を開催します

－ 中央アジアの新たな親日国・ウズベキスタンの魅力と可能性を探る 第二弾 －

JICA東京高崎分室は2022年10月のセミナー「ふるさとの国際化・多様化を考えよう（高崎市共催；外国人雇用入門編とウズベキスタン人材の紹介）以来、中央アジアのウズベキスタンという県内で未だ馴染みが少ないながらとても親日的でポテンシャルの高い国を紹介し、県の経済人他の皆さまにお繋ぎする取り組みをしています。

今回第二弾は、企業や自治体の方々と現地を視察する企画として10月22日（日）～29日（日）の期間で視察調査を行い、県内企業 2社、高崎市職員 2名が参加しました。

JICAは、1999年に首都タシケントに事務所を開設し、同国で様々な事業を行っています。また、シルクロードのサマルカンド、ブハラなどの観光地が有名な同国ですが、過去20年間で人口が約4割増加するなどダイナミックな成長を遂げていることも魅力です。

調査団参加の皆さまにも、経済という角度からも大変興味深く、関係を拡充することで同国と日本の双方にメリットが期待できることを感じてもらえたようです。

本視察調査の帰国報告会を以下の通り実施しますので、当日の取材をご検討いただけますと幸いです。

<概要>

日時：2023年11月16日（木） 15時30分～17時

場所：[WE WANDERLUST 地域編集図書館 - Google マップ](#)

住所：〒370-0849 群馬県高崎市八島町117-8 4F

参加費：無料

参加者：団員7名、関係者（リモート接続も致します）

報告事項：

- ・ウズベキスタン経済人の国の開発への意欲と、それに日本の中小企業が貢献できる可能性
- ・同国とのビジネス関係構築の可能性
- ・同国人材育成に貢献する本邦企業での雇用・育成の可能性と課題

主催：JICA東京高崎分室

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東京センター高崎分室 土屋、武井

TEL/FAX：027-388-8023

E-mail：Takei-Itsuki@jica.go.jp, Tsuchiya.Shohei@jica.go.jp